

鞍手地区点検評価委員会の意見書

令和6年11月15日

鞍手町教育委員会 殿

点検評価委員会

委員 福岡教育大学

豊島啓司

委員 宮若市

下田和子

委員 鞍手町

石松和彦

委員 小竹町

谷川龍児

令和5年度の貴教育委員会の運営状況について、点検及び評価をしましたので、別紙のとおり意見を報告いたします。

記

	点検及び評価に関する委員会の意見
教育委員会の開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 委員会の運営及び委員活動については、概ね良好に実施運営されている。
教育施策の主要施策の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 徹底反復学習・集中速習を全小学校で実施しており、基礎学力の定着と向上へ組織全体が同じ方向で進んでいることが評価できる。 ○ 人権・同和教育の積極的推進。「人権の花」運動の取り組みを今後も継続していただきたい。 ○ 適応指導教室(鞍手町教育支援センター)の運営 ○ 小学生の数の減少に伴い、小学校数も減少しているのが全国的な現状である。鞍手町においても小学校の統廃合を実施するため、令和10年4月開校予定とする「鞍手町立小学校統合基本計画」を6月に策定した。 ○ 公民館事業の推進及び活動の促進
取組・事業の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 徹底反復学習等の取り組みにより授業の質がどのように上がったかを課題とし、さらなる授業改善に取り組み、資質能力の育成を目指していただきたい。 ○ コロナ禍以降、全国的にも不登校児童・生徒数の増加が危惧されているが、教育支援センターの指導員2名配置や中学校内のサポート教室等、人的配置やハード面が整備されている。 ○ 特別な教育支援を要する児童・生徒が増加傾向にあり、特別支援教育支援員やコーディネーターを中心とした体制づくりが急務であるが、支援員の配置充実に努力されている。引き続き、支援員及び予算確保が課題となる。 ○ 学校再編にあたり、地域とともに子どもを育てる取り組みを実施していただきたい。 ○ 教職員の事務負担軽減に繋がる公会計の導入や、水泳事業やプール管理に係る負担軽減対応を是非検討して欲しい。

令和 5 年度 教育委員会点検及び評価表 (鞍手町教育委員会)

教育委員会の開催状況

<p>定例教育委員会</p>	<p>開催回数： <u>11</u> 回</p> <p>議決事項： <u>106</u> 件</p> <p>【内訳】</p> <p>条例・規則等 <u>2</u> 件、予算案 <u>2</u> 件</p> <p>方針・計画等 <u>27</u> 件、人事案件 <u>15</u> 件</p> <p>委員等の任命・委嘱 <u>1</u> 件、</p> <p>その他 <u>59</u> 件</p> <p>協議事項： <u>17</u> 件 (人事案件等)</p> <p>報告事項： <u>89</u> 件 (予算関係等)</p> <p>【研修等委員会協議活動以外の内訳】</p> <table border="1" data-bbox="316 1021 858 1460"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>実施回 (日) 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小中学校訪問</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>入園・卒園、入学・卒業、運動会、発表会、文化祭等</td> <td style="text-align: center;">21</td> </tr> <tr> <td>学校開放事業 (E ウイーク)</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>学校経営説明会</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </tbody> </table>	内 容	実施回 (日) 数	小中学校訪問	1	入園・卒園、入学・卒業、運動会、発表会、文化祭等	21	学校開放事業 (E ウイーク)	0	学校経営説明会	0	<p>(評価・課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の定例会のほか、内容に応じて臨機応変に臨時会を開催し、活発な議論を行った。 ・本町の教育委員の構成は、男性 2 人、女性 2 人となっている。令和 5 年 12 月で任期満了となる委員から辞職の申し出があり、後任として新たな委員を任命した。
内 容	実施回 (日) 数											
小中学校訪問	1											
入園・卒園、入学・卒業、運動会、発表会、文化祭等	21											
学校開放事業 (E ウイーク)	0											
学校経営説明会	0											
<p>臨時教育委員会</p>	<p>令和 5 年 8 月 第 1 回臨時教育委員会</p> <p>開催理由：令和 6 年度使用小学校教科用図書選定について</p> <p>令和 5 年 6 月 総合教育会議</p> <p>開催理由：鞍手町立小学校の統合について</p>	<p>(評価・課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、町の教育課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政を推進するため、総合教育会議を行った。 										

事業の区分

1 確かな学力の育成

《事業の内容及び状況》

取組・事業名	実施状況・成果及び課題等
<p>(1)学力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ①徹底反復・集中速習による基礎学力の定着と活用力の育成 ②学力向上プランの活用促進 (R-P・D・C・A) ③授業の工夫・改善と授業時数の確保 ④少人数指導等による個に応じたきめ細かな指導の充実 ⑤英語教育の充実と、ALT等を活用したコミュニケーション能力の育成 ⑥学力向上に向けた研究推進 ⑦特色ある教育活動の推進 	<p style="text-align: right;">(関連予算額 777 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全児童用に百マス計算と全漢字ドリルの教材を購入し、徹底的な反復学習により基礎学力の向上や定着に取り組んだり、朝読書を行ったりするなど、各学校が特色を生かした教育活動を行っている。 ○ 学力向上委員会を設置し、全国学力学習状況調査・福岡県学力調査の結果を踏まえて各学校での成果や課題を明らかにし、学力向上推進を行っている。 <p style="text-align: right;">(関連予算額 10,489 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 2名のALTが小・中学校を巡回して英語授業を行うことで、英語でのコミュニケーション能力育成を行っている。
<p>(2)ICTの活用等による新たな学びの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①GIGAスクール構想による教育環境の整備と研修 ②ICT機器の計画的整備と積極的活用 ③プログラミング的思考能力の育成 ④情報モラル教育の推進 ⑤緊急時のオンライン学習に向けての準備と研修 	<p style="text-align: right;">(関連予算額 20,350 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教務担当者会を活用した「ICT教育推進委員会」において、令和6年度の授業支援ソフトの新規導入及び学習ソフトの更新に向けて、製品の比較・検討を行った。各学校で情報を共有し、実際に授業で使用することで、現場の先生の意見が反映されたソフト選びを実施した。 ○ ICT教育推進委員会において、1人1台端末の活用方法や、夏休みにおける家庭への持ち帰り等に向けた検討、準備等を実施した。 ○ 実証授業として剣北小学校において、1人1台タブレットを活用し、英単語のタイピング、マイクラフトを使ったプログラミングを試験的に取り組んだ。

《 指 標 》 ※指標がないパターンもあり

指 標	指標の概要	現状値	目標値	達成状況
(1) ① 徹底反復・集中 速習による基礎 学力の定着と活 用力の育成	小学校における徹底反復学習 の取り組み	6校	6校	○
(1) ⑤ 英語教育の充実 と、ALT 等を活 用したコミュニケ ーション能力の 育成	ALT の配置	2名	2名	
(2) ① GIGA スクール構 想による教育環 境の整備と研修	ICT 支援員の配置	7校	7校	
(2) ② ICT 機器の計画 的整備と積極的 活用	授業支援ソフトの導入	0校	7校	

※ 目標を完全に達成できた

◎

目標達成に向けて順調に推移。もしくは概ね目標を達成できた

○

目標達成には取組の強化が必要

△

目標を大きく下回り、抜本的な見直しが必要

×

事業の区分

2 豊かな心の育成

《事業の内容及び状況》

取組・事業名	実施状況・成果及び課題等
<p>(1) 豊かな人間性の育成</p> <ul style="list-style-type: none">①「特別の教科 道徳」の授業改善・充実②キャリア教育、体験活動の推進③読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none">○ 道徳教育中核教員、各校の道徳教育推進教員を中心に研修を実施し教員の道徳科の指導力向上を推進した。○ 令和6年度の教科書改訂に伴うカリキュラム編成に関する資料の提供を行い、道徳科のカリキュラム編成にあたる教務担当者会への支援を行った。○ 鞍手中学校、小学校2校において、多数の地域の職業人を招いて「キャリア教育夢授業」を実施した。○ 鞍手町教育委員会の司書を、要請のあった小学校に派遣し、学校図書の整理・整備、委員会活動支援を行い読書活動の充実を図った。
<p>(2) 学校教育における人権教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none">①人権教育推進体制の充実と意図的、効果的な人権教育の推進②人権・同和教育実践交流会や新転任者教職員研修会、各種研修会への参加奨励③人権を尊重した教育活動の展開及び指導方法の工夫・改善④一人一人の学力と進路の保障を目指した取組の充実⑤地元教材の活用推進	<ul style="list-style-type: none">○ 各小中学校において、人権教育に対する教職員の認識・意欲の高揚のため、年間を通じて研修を実施している。また、各小中学校で、各教科・道徳・特別活動と関連付けながら特設の人権学習の時間を設けている。 <p style="text-align: right;">(関連予算額 298 千円)</p> <ul style="list-style-type: none">○ 町の実態をもとに地元教材づくりを進め、鞍手町人権教育地元教材として「未来へのかけ橋」の教材冊子を制作した。令和2年度から行っている授業検証を踏まえ、令和6年度は小学校4年生及び5年生を対象とした教材冊子の改訂に取り組む。

<p>(3)生徒指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ①学級経営の充実 ②基本的な生活習慣の定着 ③道徳性の向上と規範意識の育成 ④家庭・地域との連携強化 ⑤いじめ・不登校児童生徒の未然防止と早期発見・対応の組織的な取組の推進と小中の連携 ⑥スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スクールサポーターの活用 ⑦適応指導教室の運営 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県が小中学校にスクールカウンセラーを配置しており、学校や町教育委員会と連携を取りながら、いじめ・不登校問題の解決に向けて取組を行っている。 <p style="text-align: right;">(関連予算額 3,120 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 町単費でスクールソーシャルワーカーを配置し、いじめや不登校、虐待、貧困など、学校や日常生活における問題に直面する子どもの支援を行っている。 ○ 新たに教育相談員を2名雇用し、鞍手町中央公民館に適応指導教室を開室した。小学生5名、中学校5名が通い、中学生の2名は高校受験し合格、小学生3名の不登校が解消し、学校に通学できるようになった。
---	---

《 指 標 》 ※指標がないパターンもあり

指 標	指標の概要	現状値	目標値	達成状況
(2) ⑤ 地元教材の活用 推進	町の実態を基にした人権教育 の教材の作成	1件	1件	◎
(3) ⑥ スクールカウンセ ラー、スクールソ ーシャルワーカー、 スクールサポーターの活用	SC、SSWの配置校数	7校	7校	

※ 目標を完全に達成できた

◎

目標達成に向けて順調に推移。もしくは概ね目標を達成できた

○

目標達成には取組の強化が必要

△

目標を大きく下回り、抜本的な見直しが必要

×

事業の区分

3 健やかな体の育成

《事業の内容及び状況》

取組・事業名	実施状況・成果及び課題等
<p>(1)健康・安全指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ①学校における感染症予防対策の徹底 ②健康と体力の維持増進 ③学校生活における児童生徒の安全確保と指導 ④体力向上プランの活用促進 ⑤登下校時における児童・生徒の安全確保 ⑥防災教育の充実 	<p style="text-align: right;">(関連予算額 7,144 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各小中学校で体力向上プランを作成し、体力向上に取り組んでいる。また「1校1取組」を作成し、重点化した実践を行った。 ○ 登下校時、児童生徒の安全確保のため鞍手町青少年育成町民会議が協力し、青色防犯パトロール活動を行っている。 <p style="text-align: right;">(関連予算額 32,422 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校では令和2年度からスクールバスによるバス通学を実施している。令和4年度に運行事業者の選定を行い、令和5年度から令和7年度までの契約を行った。 ○ 通学路の改善要望があった箇所について、鞍手町通学路安全推進会議を開催し、直方警察署と直方県土整備事務所等の関係機関と協議を行った。改善できた箇所もあるが、設置条件に合致しないものや用地買収等を伴うものがあるため、改善ができないものもある。
<p>(2)学校給食の衛生管理と指導の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ①学校における衛生管理の徹底 ②食物アレルギー対策の徹底 ③食育の推進と給食指導の充実 ④地産・地消の推進 ⑤給食センター施設のあり方についての検討 	<p style="text-align: right;">(関連予算額 29,964 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成 30 年度から調理・配送業務の民間委託を実施し、学校給食を安全かつ安定的に提供する体制を確立した。令和5年度は民間委託の3か年契約の最終年度にあたり、民間委託における課題を踏まえながら、前回と同様の公募型プロポーザル方式により翌年度からの委託事業者を選定した。 ○ 栄養教諭が各学校を回り、食育の推進と給食指導について授業を行った。また、各学校における衛生管理の徹底に努めた。 ○ 給食センターの施設については、令和 10 年 4 月開校予定の統合小学校建設と合わせて整備される予定である。また、老朽化している現存施設での学校給食事業を継続しながら問題点や課題を追究し、新たな施設での事業実現に向けての準備を進めていく。

《 指標 》 ※指標がないパターンもあり

指標	指標の概要	現状値	目標値	達成状況
(1) ① 学校における感染症予防対策の徹底	学校内感染の発生件数	0件	0件	○
(1) ⑤ 登下校時における児童・生徒の安全確保	中学校開校日におけるスクールバスの運行の実施	100%	100%	
(2) ① 学校における衛生管理の徹底	給食時間における手洗いの指導推進及び給食当番の健康チェックの実施の徹底	7校	7校	
(2) ② 食物アレルギー対策の徹底	各校と連携し、対象児童・生徒の保護者へ詳細献立表を毎月配布する	11回	11回	
(2) ③ 食育の推進と給食指導の充実	栄養教諭と連携した各校での食に関する指導の実施	7校	7校	
(2) ④ 地産・地消の推進	学校給食における鞍手町産食材の積極的な利用	66%	100%	

※ 目標を完全に達成できた

◎

目標達成に向けて順調に推移。もしくは概ね目標を達成できた

○

目標達成には取組の強化が必要

△

目標を大きく下回り、抜本的な見直しが必要

×

事業の区分

4 学校指導体制の整備

《事業の内容及び状況》

取組・事業名	実施状況・成果及び課題等
<p>(1)教職員の研修活動促進と資質の向上</p> <ul style="list-style-type: none">①効果的な徹底反復・集中速習②授業研究等を通じた指導力の育成③教育実践の計画・実施と評価④協働研究・研修の推進と各種研修会への参加奨励⑤小・中学校の連携強化と校区連携事業の推進	<ul style="list-style-type: none">○ 鞍手町徹底反復推進委員会主催で各小学校の推進担当者等を中心に研修会を実施し指導力向上を図った。また、各小学校における講師を招聘しての年2回の研修を推進した。○ 鞍手町学力向上推進員会を新たに設置しその中で鞍手町の学力に関する課題と改善のための方策を全小中学校の校長、学力向上担当者で共有し、各校で授業改善に資する教員の指導力向上研修や授業研修を実施した。○ 令和4年度までの研究の成果「鞍手型授業メソッド」を活用し、課題となっている「読む力」「書く力」育成のための授業改善を推進した。○ 鞍手地区教育研究所部会において、各教科部会への積極的な参加を推奨し、教職員の資質向上に努めた。
<p>(2)教職員の職務遂行とサービスの厳正</p> <ul style="list-style-type: none">①教育公務員としての自覚と綱紀の厳正な保持②教師として使命感のある言動③飲酒運転、パワーハラスメント、セクシュアルハラスメント、情報漏洩等の防止	<ul style="list-style-type: none">○ 定例の校長会議の際、飲酒運転、わいせつ行為、政治的行為、個人情報適切な取扱い、その他信用失墜行為の禁止など、綱紀の厳正な保持について指導の徹底を図っている。また、各学校において、管理職が日常的に綱紀の厳正な保持についての指導を行っている。

<p>(3)教職員の働き方改革の推進</p> <p>①教職員が担う業務の精査及び適正化</p> <p>②学校を支える体制の構築</p> <p>③教職員の業務改善と意識改革</p>	<p>(関連予算額 264 千円)</p> <p>○ 勤怠管理システムを導入し、教職員の在校時間の客観的な把握を行っている。</p> <p>(関連予算額 492 千円)</p> <p>○ 学校における働き方改革事業として、小学校では「学校支援ボランティア事業」に5校が取り組み、学校支援ボランティアと連携しながら進め、教職員の業務改善に取り組んでいる。</p> <p>(関連予算額 1,285 千円)</p> <p>○ 室木小が完全複式学級となったことによる教職員の負担軽減を図るため、町費負担の「複式学級支援員」を3名配置した。令和4年度から2名増員できたことで、教職員の負担軽減が図られた。</p>
<p>(4)教育諸条件の整備充実</p> <p>①施設・設備の充実</p> <p>②教育機器の導入と活用</p> <p>③学習環境の整備</p> <p>④小学校の在り方についての検討</p> <p>⑤特認校制度の運用</p> <p>⑥各小学校の交流推進</p>	<p>(関連予算額 6,881 千円)</p> <p>○ 各学校の緊急的な修繕等を実施することで、学習環境の整備を図った。</p> <p>○ 6月に令和10年4月を開校予定とした鞍手町立小学校統合基本計画(以下「基本計画」とする。)を策定し、各小学校区を対象として6回、町全体を対象として1回、合計7回の住民説明会を実施した。</p> <p>11月に鞍手町立小学校建設事業発注者支援業務委託の契約を締結し、教育委員会、町長部局、発注者支援業者との協議体を設置して、事業完遂に向けた課題、住民説明会で出された意見への対応等について、協議を進めた。</p> <p>上記の協議の結果、基本計画の一部を改訂する必要が生じたため、令和6年2月に基本計画改訂版を策定し、仮設校舎の設置など、直接の影響を受ける剣南小学校保護者に対する基本計画改訂版の保護者説明会を行った。</p>
<p>(5)学校と地域の連携・協働</p> <p>①学校評価システムの確立と学校運営の工夫・改善</p> <p>②学校・家庭・地域が一体となったコミュニティ・スクールの推進</p>	<p>○ 全小中学校で年間計画に沿って学校運営協議会を実施し、校長の教育目標をもとに運営委員と連携した学校評価を行い、客観性・透明性を図りながらよりよい学校運営に取り組んでいる。</p> <p>○ 全小中学校が、コミュニティ・スクール3年目としての取り組みを地域との連携を大切にしながら推進している。</p>

《 指 標 》 ※指標がないパターンもあり

指 標	指標の概要	現状値	目標値	達成状況
(3) ② 学校を支える体制の構築	学校支援ボランティア事業の実施校数	5校	6校	○
(3) ③ 教職員の業務改善と意識改革	複式学級支援員の配置	3名	3名	
(4) ④ 小学校の在り方についての検討	統合校の開校	基本計画策定 (令和10年4月開校予定)	統合校開校 (規模適正化)	

※ 目標を完全に達成できた

◎

目標達成に向けて順調に推移。もしくは概ね目標を達成できた

○

目標達成には取組の強化が必要

△

目標を大きく下回り、抜本的な見直しが必要

×

事業の区分

5 特別支援教育の推進

《事業の内容及び状況》

取組・事業名	実施状況・成果及び課題等
<p>(1)特別支援教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none">①インクルーシブ教育の推進②個に応じた「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の作成と実践③「障害者差別解消法」への対応と合理的配慮の推進④特別支援教育コーディネーターを中心とした組織的な取組の推進⑤ユニバーサルデザインの視点を活かした授業⑥就学相談の実施⑦関係機関(就学前、福祉、医療機関等)との連携強化⑧特別支援教育支援員の配置⑨通級指導教室の充実	<p style="text-align: right;">(関連予算額 29,517 千円)</p> <ul style="list-style-type: none">○ 特別支援学級に町費負担の「特別支援学級補佐職員」を配置しており、児童生徒の実態に応じた学習支援を行っている。○ 各学校において、特別支援教育コーディネーターを中心に、特別支援学級担任と通常学級の担任が連携しながら、児童生徒の実態に応じた「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の作成・実践を行っている。○ 例年、保幼小の他、鞍手町保健師と合同で就学前の児童の情報を交換・共有し、一貫した指導ができるように特別支援教育連携協議会を実施した。○ 剣北小学校に通級指導教室を設置し、自校通級、巡回による指導により、よりきめ細かな指導を行うことができた。○ 鞍手中学校に通級指導教室が設置されているが、配置が非常勤講師であるため、一人ひとりの生徒への指導時間が十分に確保できていない。

《 指 標 》 ※指標がないパターンもあり

指 標	指標の概要	現状値	目標値	達成状況
(1) ⑥ 就学相談の実施	希望者への就学相談の実施	23 名	13名	◎
(1) ⑧ 特別支援教育支 援員の配置	特別支援学級補佐職員の配置	25 名	25 名	

※ 目標を完全に達成できた

◎

目標達成に向けて順調に推移。もしくは概ね目標を達成できた

○

目標達成には取組の強化が必要

△

目標を大きく下回り、抜本的な見直しが必要

×

事業の区分

6 社会教育の充実

《事業の内容及び状況》

取組・事業名	実施状況・成果及び課題等
<p>(1) 社会教育振興のための諸機関の機能化</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 総合的見地に立つ施設整備の構築(中央公民館改修工事) ② 社会教育施設の運営と活用 ③ 社会教育関係団体の自主的活動の促進 ④ 家庭・地域の教育力を高めるための啓発・推進 ⑤ 子育て学習活動の推進 ⑥ 男女共同参画社会の啓発・推進 ⑦ 学社連携・融合事業の推進 ⑧ 学習習慣の定着を図る「鞍手町放課後子ども教室」「くらて寺子屋」の実施 	<p style="text-align: right;">(関連予算額 11,836 千円)</p> <p>○ 令和6年3月下旬から6年10月末にかけ中央公民館1階の大規模改修を行う。体育施設などの公共施設は老朽化が進んでいるが、厳しい財政事情の中、なかなか環境の改善に至っていない。修繕、改修工事箇所の優先順位を検討し、順次、利用環境の改善に努める。</p> <p>令和5年度から6年度にかけ、文化施設では新庁舎建設に伴い博物館別館の建設を行っている。体育施設では避難所に指定されている武道館・体育館のトイレの洋式化に向け実施設計を行った。</p> <p style="text-align: right;">(関連予算額 143 千円)</p> <p>○ 町内の小学校2年生以上の児童を対象に「くらて寺子屋」を年間 14 回実施した。16 名の小学生と4名の学習ボランティアの参加で、学習習慣の定着に向けて自学自習を中心に取り組んでいる。</p> <p style="text-align: right;">(関連予算額 590 千円)</p> <p>○ 家庭内での親子のふれあい時間の確保や安全な下校対策を考慮し、全小学校で「放課後子ども教室」を実施し、小学生 28 名と学習サポーター10 名で進めた。さらに学校・家庭・地域の連携を推進するための広報活動を行っている。</p>
<p>(2) 生涯学習まちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 学習機会の提供と学習成果の活用の促進 ② 生涯学習における人材の確保と活動の促進 ③ 公民館事業の推進及び活動の促進 ④ 図書室利用の促進と子ども読書の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・お話の会、読書祭り、ブックスタート、保育園等配本の充実 ・レファレンスの強化推進 ⑤ 自治公民館活動の促進 	<p style="text-align: right;">(関連予算額 45 千円)</p> <p>○ 令和5年度は、読み聞かせ、歴史講座、ヨガ体験講座、物づくり講座の6回公民館講座を実施した。令和6年度は、幅広い年齢層を対象に、公民館講座を実施し、地域の活動に取り組むよう予定している。</p> <p>○ 自治公民館連絡協議会に加入している44の自治公民館活動の推進のため育成費の交付、また、各自治公民館事業の推進のため活性化補助金の交付も行った。</p> <p style="text-align: right;">(関連予算額 160 千円)</p> <p>○ 保育所・こども園・幼稚園及び保健センターへ配本を行い、多くの子どもたちに絵本を提供することができた。</p>

取組・事業名	実施状況・成果及び課題等
<p>(3) 青少年の健全育成</p> <p>① 青少年育成町民会議と連携し、小学校区、自治公民館を中心とした青少年健全育成運動の推進</p> <p>② 学校外生活指導の活性化</p> <p>③ 子ども会育成の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダー研修会、子どもフェスタ、スポーツ大会等の実施 <p>④ いじめ防止の推進及びアンビシャス運動の推進</p>	<p style="text-align: right;">(関連予算額 1,040 千円)</p> <p>○ 青少年の健全育成に向け、地域と連携しながら、青色回転灯防犯パトロール活動を実施した。10月には青色防犯パトロール車推進大会を行った。11月に講師を招き青少年健全育成講演会を実施した。</p> <p style="text-align: right;">(関連予算額 160 千円)</p> <p>○ 「野外生活リーダー研修」は悪天候により中止した。「子どもフェスタくらて2023」は、4年ぶりに行い多くの来場があった。「体育大会」ではニュースポーツ「スローイングビンゴ」を実施、50名の参加があった。</p> <p>○ 青少年育成町民会議では、7月のいじめストップ月間では、いじめに関する、チラシ及び啓発物(花の種)を学校を通じて全児童に配布してる。</p>
<p>(4) 生涯スポーツの振興</p> <p>① 健康と体力づくりを目指した、スポーツの振興・推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民体育祭、体育協会主催事業等の参加奨励によるスポーツの振興 ・健康づくり、体力づくり意識の普及と浸透 ・ニュースポーツの普及と推進 <p>② スポーツの日常化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育施設活用の促進 <p>③ 自主的スポーツ団体の促進と支援</p>	<p style="text-align: right;">(関連予算額 799 千円)</p> <p>○ 町体育協会では、8団体 312名が会員として活動しているが、団体によっては会員の減少により活動の低迷が見られる。また、町民が一同に集まり、親睦を深め、スポーツを行う町民体育祭は、参加の区が少なく廃止とした。</p> <p>○ 町民一人ひとりがスポーツに親しみ、健康で楽しく暮らしていけるような施設の提供及び管理運営に努めているが、各施設の老朽化が進み、一部修繕、改修工事が必要な箇所が多く見られるため、今後も計画的な修繕工事を実施していく。</p> <p>○ 施設予約については、インターネットの活用により平日の時間外及び土・日・祝日においても予約が可能であり、住民サービスの向上につながっている。</p>

(5) 社会教育における人権・同和教育の推進

- ① 人権教育に関する講演会・学習会等の実施や啓発活動の推進
- ② 鞍手町人権・同和教育研究協議会の取組の推進
- ③ 鞍手町人権子ども会の育成
- ④ 鞍手町人権教育・啓発基本計画の策定

(関連予算額 263 千円)

○ 町内の各小中学校の合計7ヶ所で人権問題地区学習会を開催し、全体での 881 人の参加があった。

(関連予算額 426 千円)

○ 6月の人権教育学級、7月の同和问题啓発強調月間、12月の人権週間の集い講演会を行った。

(関連予算額 940 千円)

○ 年間を通して、県及び町の講演会、研修会へ参加、学校部会と連携し、あらゆる差別の撤廃に向け教育・啓発の取組を行っている。

(関連予算額 1,450 千円)

○ 小中学生を対象とした人権子ども会を5月より実施し、学習や体験活動を通して、人権啓発の取組を充実させることができた。今後も継続していく。

《 指 標 》 ※指標がないパターンもあり

指 標	指標の概要	現状値	目標値	達成状況
(1) ① 総合的見地に立つ施設整備の構築(中央公民館改修工事)	中央公民館の改修工事 (内部改修実施設計)	令和5年度	令和6年度 (改修工事)	
(1) ⑧ 学習習慣の定着を図る「鞍手町放課後子ども教室」 「くらて寺子屋」の実施	「鞍手町放課後子ども教室」の 実施校数 「くらて寺子屋」の参加人数	6校 16人	6校 20人	
(2) ① 学習機会の提供と学習成果の活用 の推進	公民館講座の参加人数	63名 (6回実施)	120名 (7回実施)	○
(3) ① 青少年育成町民会議と連携し、小学校区、自治公民館を中心とした青少年健全育成運動の推進	青色パトロール車の台数	24台	25台	
(5) ① 人権教育に関する講演会・学習会等の実施や啓発活動の推進	参加延べ人数	1,427人 (児童・生徒を含む)	1,200人	

※ 目標を完全に達成できた

◎

目標達成に向けて順調に推移。もしくは概ね目標を達成できた

○

目標達成には取組の強化が必要

△

目標を大きく下回り、抜本的な見直しが必要

×

事業の区分

7 文化の振興・文化財の保護

《事業の内容及び状況》

取組・事業名	実施状況・成果及び課題等
<p>(1)豊かな文化的環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ①町民の文化活動の育成・振興 ②自主的文化団体の育成 ③各校における郷土学習の支援と促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○中央公民館のサークル活動は、高齢化が進み会員数の減少や参加人数が減少しているため、新たな層や地元の発掘を目指して、公民館活動を推進する。令和5年度は3つのサークルが休止、1つの親子習字サークルを承認した。 自主サークルへと移行出来るような、魅力ある公民館講座を実施することが課題である。
<p>(2)文化財の保護・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ①無形文化財の保存の促進 ②文化財の保護と活用 ③歴史民俗博物館の充実と発展 ④博物館別館(石炭資料展示場)の建設 ⑤各校における郷土学習の支援と促進 	<p style="text-align: right;">(関連予算額 228千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コロナウイルス感染症の影響により、延期されていた町指定文化財の永谷万年願盆綱引き(永谷)、八剣神社湯立神楽(中山)、六嶽神楽(室木)、剣神社遷宮行列(木月)が4年ぶりに開催された。これらの行事の開催にともない記録保存のため、写真、映像撮影を行った。なお各指定文化財の保存会に補助金を助成した。 ○ 県指定文化財「伊藤家文書」の『太宰管内志』の解析のため、『群書抄録』94巻の整理を県文化財保護指導委員の協力のもと、資料撮影、詳細目録の作成を行った。 ○ 博物館では、別館建設工事のため令和5年2月から休館となったため、他施設を活用した「とびだせ博物館！」と題した企画展を中央公民館ロビー、くらて病院横タケンタ調剤薬局多目的室、鞍手郵便局、新延郵便局の一角で写真展を開催した。また桂川町の王塚装飾古墳館に約200点のくらしの道具を貸し出し、企画展開催の協力を行った。 <p style="text-align: right;">(関連予算額 13,265 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 博物館石炭資料展示室の展示実施設計を作成した。また石炭資料展示室の展示工事に伴い、映像コンテンツの製作を行った。内容はこれまで過去に記録された石炭の採炭工程を4分間にまとめた映像の製作と、当時の坑内作業の様子やくらしの様子をそれぞれの項目について4人の語り部に聞き取りを行った映像の製作を行った。 ○ 学校連携事業として、これまで行っている各小学校6年生の歴史を対象とした「子ども学芸員」事業に加え、5年生を対象とした「石炭の授業」を行った。

《 指 標 》 ※指標がないパターンもあり

指 標	指標の概要	現状値	目標値	達成状況
(1) ① 町民の文化活動 の育成・振興	中央公民館のサークル数	19 サークル	22 サークル	
(2) ① 無形文化財の保 存の促進	無形文化財の実施及び記録保 存等の支援	4団体 (1団体はコロ ナ感染対策 のため中止)	5団体	
(2) ② 有形文化財の保 護と活用	史跡等の環境整備 史跡等の見学案内	4箇所 1回	4箇所 2回	○
(2) ③ 歴史民俗博物館 の充実と発展	教育普及(企画展)の実施	4回 (小規模)	2回	
(2) ④ 博物館別館(石 炭資料館)の建 設準備	博物館別館の開館 (展示工事)	令和5年度 (展示準備)	令和7年度 (開館)	
(2) ⑤ 各校における郷 土学習の支援と 促進	郷土学習支援校数	6校 (子ども学芸員5校 石炭授業 6校)	6校	

※ 目標を完全に達成できた

◎

目標達成に向けて順調に推移。もしくは概ね目標を達成できた

○

目標達成には取組の強化が必要

△

目標を大きく下回り、抜本的な見直しが必要

×